

地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県（県立高校）				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 （見直し年 度） R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 全県 1 学区制に移行後（H16）は、地域から福井市内の県立高校や私立高校に多くの生徒が通学し、地域の高校では欠員が出ている。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和 4 年度進路志望調査（県内の全日制高校志望者） 坂井地区に在住する中学生のうち、43%が福井市内の高校（私立含む）を志望している 奥越地区に在住する中学生のうち、20%が福井市内の高校（私立含む）を志望している 丹南地区に在住する中学生のうち、28%が福井市内の高校（私立含む）を志望している					
[事業目的] 生徒主体の教育活動など学校改革に取り組む高等学校を「地域の高校魅力化推進校」に指定し、重点的に P R ・支援する。 学校独自の教科科目の設定や新学科設置等を進め、県内外の生徒から選ばれる高校づくりを推進する。											
[事業内容] （1）対象校：地域の普通科系高校 （2）内容 ・新コースを設置し、特色ある教育の実施（丸岡） ・地域みらい留学による県外生徒の募集（丸岡、若狭）											
[受益者] 全日制県立高校（普通科系）生徒数						[想定される受益者数] 8,679人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（役割分担） 新たな学科やコースを設置し、特色ある教育活動を実施する地域の高校を今回の事業で支援する。				
市町との連携状況	県が県外生徒を支え高校と地域の橋渡しを行う地域みらい留学生サポーター制度を創設。市町の観光・まちづくり担当部局（観光交流課、企画政策課等）が、地域商店街や商工会議所などにサポーター制度への登録・協力を依頼。					他県の状況					

地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	山崎 良成
事業主体	県（県立高校）			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度（見直し年度）	R6 年度
事業実施方法	直営							経過年数					
補助率	—							3 年					
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,097	2,765				3,332		地方創生推進交付金					
[予算額の推移等]													(単位：千円)
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					8,202	21,854	6,097	一部高校の事業完了に伴い、対象校を4校（足羽、勝山、武生東、丸岡）から2校に縮減（丸岡、若狭）					
2月現計予算額の推移					17,726	20,065							
決算額の推移					7,522								
前年度までの主な増減理由		令和3年度 足羽、勝山、武生東の3校において魅力化を支援 令和4年度 新たに丸岡の魅力化を支援することによる増額（対象校：足羽、勝山、丸岡、武生東） 若狭、丸岡の地域みらい留学の実施に伴うPR活動実施による増額											
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	普通科系高校を志望する中学生のうち、地域の12校を志望する者の割合（%）	（目標） 実績	44.8	40.1	(40.1) 40.2	(41.1) 42.9	(44.0)	(44.0)	(45.7)	地域の普通科系高校12校を志望する中学生の割合を、私学無償化拡大の前の状況（45.7%）に戻す			
活動指標	高校生による中学生への出前授業実施校（校）	（目標） 実績			(3) 3	(4) 4	(5)			地域の高校生が自主的に学習している状況を中学生にPR			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点					事業評価			
活動指標、成果指標ともに数値目標を達成した。特に定員割れの普通科系高校において、中学生の探究授業に高校生がアドバイスをする出前授業を積極的に実施したところ、高校の魅力発信ができ、指標の目標達成につながった。					足羽、勝山、武生東は魅力化に必要な備品等を整備し事業完了。丸岡、若狭の2校について引き続き魅力向上に取り組む。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	15,757
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 全県 1 学区制に移行後 (H16) は、地域から福井市内の県立高校や私立高校に多くの生徒が通学し、地域の高校では欠員が出ている。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和 4 年度進路志望調査 (県内の全日制高校志望者) 坂井地区に在住する中学生のうち、43%が福井市内の高校 (私立含む) を志望している 奥越地区に在住する中学生のうち、20%が福井市内の高校 (私立含む) を志望している 丹南地区に在住する中学生のうち、28%が福井市内の高校 (私立含む) を志望している					
[事業目的] 高校生が主体的に勉強できる環境を地域の高校に整備して地域の高校の魅力向上を図るとともに、自主学習時間の増を促進することによる進学強化を図る。											
[事業内容] 1 自習室の開放 ・ 学校校舎の開放 : 警備員の配置延長 ・ 学校校舎以外の施設の活用 : 非常勤講師等を配置 2 延長時間 ・ 18 時頃から 20 時半頃まで延長											
[受益者] 全日制県立高校 (普通科系) 生徒数						[想定される受益者数] 8,679 人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	勝山市 : 教育会館の会議室を無償提供、大学生配置					他県の状況					

地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金				
補助率	—							□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,907				2,907							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				2,861	2,822	2,907	大野高校が、校舎外(非常勤講師対応)から校舎内(警備員配置延長)の自習室へ変更したため					
2月現計予算額の推移				2,499	2,421							
決算額の推移				2,395								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度：委託料（警備員配置にかかる単価）の減											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	普通科系高校を志望する中学生のうち、地域の12校を志望する者の割合(%) (目標) 実績	44.8	40.1	(40.1) 40.2	(41.1) 42.9	(44.0)	(44.0)	(45.7)	地域の普通科系高校12校を志望する中学生の割合を、私学無償化拡大の前の状況(45.7%)に戻す			
活動指標	自習室の利用率(%) (目標) 実績			(3.0) 2.7	(3.5)	(4.0)	(3.5)	(4.0)	地域の高校生が自主的に学習している状況を中学生にPR 1日あたりの利用者数/対象校の全生徒数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標未達成であったが、成果指標は目標を超えて達成した。 (外的要因)活動指標については、新型コロナウイルス感染症により学級閉鎖などがあったため目標未達成であったが、昨年度より利用率は増加している。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
福井県教育振興基本計画 方針4 国際的な視野に立ち、自ら考えを発信する力の育成をめざす。						・外国の高校で学習してきた県立・私立高校生徒 H28:9人(4人) H29:9人(3人) H30:11人(4人) R1:12人(4人) R2:1人(1人) R3:6人(5人) ※ ()内の数は当奨学金利用者数						
[事業目的]												
世界を舞台に活躍できる人材を育成するため、海外の高校へ長期留学する高校生を支援する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：当該年度4月現在、福井県の高校に在籍する日本国籍を有する生徒 ・留学期間：1年間または2年間 ・条件：教育上有益であると認められる留学計画であることに加え、留学の普及啓発活動に協力すること ・給付額：教育委員会が必要と認めた額 												
[受益者] 海外留学をする高校生						[想定される受益者数] 7名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県きぼう応援奨学金給付事業 (役割分担) 低所得世帯の高校生への支援					
市町との連携状況						他県の状況						

「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	定額							<input type="checkbox"/> その他		8 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,000			繰入 25,000		福井県奨学育英基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		7,900	18,000	18,000	18,000	25,000	・ 給付額上限の撤廃					
2月現計予算額の推移		7,900	7,900	6,000	14,378							
決算額の推移		7,900	7,900	6,000								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度、本事業の支援者であるふるさと納税者から、保護者の経済的負担を減らして留学を志す高校生を積極的に後押ししたいとの強い要望を受け、1年留学生への奨学金の上限を30万円から60万円に増額し募集人数を3人から4人に拡大 ・ 令和2年度は、さらに1年留学生への奨学金の上限を60万円から120万円に増額し募集人数を4人から5人に拡大 ・ 令和4年度、本事業の支援者であるふるさと納税者から、留学に必要な費用の全額を給付して留学を志す高校生を積極的に後押ししたいとの強い要望を受け、給付額の上限を撤廃 										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	給付件数(件)	(目標) (6)	(9)	(9)	(9)	(7)	(7)	(7)	1年留学 5名、2年留学 2名(1年目1名、2年目1名)			
		実績 6	1	5	5							
活動指標	奨学金制度の案内を行った学校数(校)	(目標) (31)	(32)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	県内全ての全日制高校(私立含む)			
		実績 31	32	29	29							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・ 活動指標は目標どおり達成したが、成果指標は未達成となった。 (外的要因) コロナ禍により実施が不透明だった時期が長く、令和3～4年度に留学を希望する生徒が少なかったため。 参考：令和4年度 1年留学4名、2年留学1名 令和3年度 1年留学5名				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 福井県教育振興基本計画 重点施策 3 地域に貢献しようとする心を育む「ふるさと計画」の推進						[問題・課題を表す客観的データ] 「全国学力・学習状況調査」(中学)において「将来の夢や目標を持っている」生徒が減少している。 H31 福井74.2% 全国70.5% R3 福井71.2% 全国68.6%					
[事業目的] 高校生が、将来に向けて具体的な目標を持ち、それぞれの目標に向かって学習意欲を高めていけるように、福井県ゆかりの第一線で活躍する企業経営者等を講師とした授業、および各学校から要望が挙がった職業に就いている社会人によるセミナーを実施し、キャリア教育の充実を図る。											
[事業内容] ①福井県ゆかりの講師(ふるさと先生)による授業 (伊藤忠商事名譽理事 小林栄三氏、コマツ特別顧問 野路國夫氏、JTB取締役相談役 田川博己氏 等) ②各分野(職業)で活躍している社会人による「キャリア教育セミナー」 (県内外の第一線で活躍する社会人) ※①②を合わせて、講師数25名 実施校25校 ③地域の企業や社会人による「キャリア教室」 講師数 70名程度 実施校数 高校 定時制7校(各校10名)											
[受益者] 県立高校生						[想定される受益者数] 約14,000名					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	令和3年度より「ふるさと先生」を市町の中学校で活用 R3 4校で実施 R4 3校で計画					他県の状況	石川県 世界規模で活躍する企業経営者の講演会を実施 富山県 職業観、勤労観を育てるための企業経営者等による講演を実施				

「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等											
予算額	2,223					2,223												
[予算額の推移等] (単位：千円)																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移		3,084	3,566	3,514	2,223	2,223												
2月現計予算額の推移		2,049	1,460	2,084	974													
決算額の推移		1,720	920	1,483														
前年度までの 主な増減理由	令和2年度より「キャリア教育セミナー」、「キャリア教室」を新たに開始したため増額 令和3年度は一部オンライン開催としたため、食糧費を減額																	
[成果指標等の推移]																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	授業を受講して夢や希望を持つことができた生徒の割合 (アンケート結果(%))	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	ふるさと先生およびキャリア教育講師の授業を通して、生徒がキャリア意識を高め、自らの進路に夢や希望を持つことができたかを成果指標とする。									
活動指標	ふるさと先生による授業、キャリア教育セミナー実施校数(校)	(26)	(26)	(26)	(25)	(25)	(25)	(25)	県立高校の全ての生徒が3年間を通して必ず1回は、ふるさと先生およびキャリア教育講師の授業を受け、キャリア発達の機会が持てることを活動指標とする。									
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価											
活動指標は目標どおり、成果指標は目標を超えて達成。 「ふるさと先生 授業」 11名がのべ14校で授業を実施 「キャリア教育セミナー」 11名が11校で授業を実施 「キャリア教室」 192名が延べ21校で授業を実施			—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

県立学校タブレット活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]					関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]			
[解決すべき問題・課題] 令和2年度末に全県立学校に整備した1人1台タブレット端末の整備が完了した。それを効果的に活用するために、授業支援アプリの導入や様々な場面でインターネットに繋がる環境を整備するほか、現場で円滑に活用されるよう教員への支援が必要であり、県内全体の活用度を上げることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 「普段の授業の中で板書をノートに書くだけでなく内容について考える時間が十分あると思いますか」、「生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」、「自分の考えを他の人に説明したり、文章にかいたりして表現することをよく行っていると思いますか」という質問に対して「そう思う」の回答が、それぞれ37.5%、32.3%、25.8% (R3学習状況調査)					
[事業目的] (1) 1人1台タブレット端末を活用した、効果的な協働学習を実現し教育の質を高める (2) 令和6年度のデジタル教科書の本格的な導入に向け、その活用を一層推進する											
[事業内容] (1) 県立学校に授業支援アプリを導入 (2) 高志中学校・特別支援学校に教師用・学習者用デジタル教科書等を導入											
[受益者] 県立学校生徒および教員						[想定される受益者数] 児童生徒15,100人、教員1,700人					
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 オンライン学習環境整備事業 (実績) 令和2年度に生徒1人1台のタブレット端末を整備				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
		市町との連携状況		他県の状況							

県立学校タブレット活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	16,877					16,877						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				29,633	34,815	16,877	導入するデジタル教科書の精選による減額 学習支援アプリの単価減による減額 事業の一部を教育政策課に移管					
2月現計予算額の推移				29,633	34,815							
決算額の推移				22,886								
前年度までの主な増減理由		令和4年度 学習支援アプリの有料化に伴う増額（令和3年度は試用期間のため無料）										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	授業の内容がよくわかる と答えた生徒の割合 (%) 実績	26.9	(37) 28.7	(37) 25.4	(37) 30.7	(37)	(37)	(37)	全国学力調査における「授業の内容がよくわかる」と回答する生徒の割合が令和元年度26.9%から10%増			
活動指標	県立高校中学校でロイロ・ ノートが利用できる一人一台 端末の割合 (%) 実績			(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)	県立高等学校および中学校の生徒の配付率100%			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標達成したが、成果指標については未達成となった。 (外的要因) 学校におけるICT機器の活用率が45.0%であり、未達成の 原因となっていると考えられる。				導入するデジタル教科書の精選による減額 学習支援アプリの単価減による減額 事業の一部を教育政策課に移管				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,608	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]			
[解決すべき問題・課題] 不登校の高校生や中退後に引きこもりになっている子どもの社会的自立を支援する						[問題・課題を表す客観的データ] 県内高等学校の不登校生徒が増加傾向 令和2年度 294人(県立186人、私立108人) 令和3年度 314人(県立214人、私立100人)					
[事業目的] 高校等において不登校などにより家庭に引きこもりにならないまたはその状況を改善するきっかけづくりを行うことで、子どもたちの社会自立を目指す。											
[事業内容] ○自立支援センター(学習等の実施場所)の設置 ①設置場所 県内2か所(教育総合研究所、丹南地区(鯖江市勤労青少年ホーム)) ②利用者の掘り起し 2名程度(福井・坂井地区、丹南・奥越地区 各1名) ③学習等の支援員の充実 教員〇B等2名程度 ○利用者の掘り起し パンフレット作成、関係機関への配付 ○支援員の確保 ちらしの作成、配付											
[受益者] 学校に行けない子供たち						[想定される受益者数] 約500人(高校生の不登校、中途退学者数)					
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況		【高校生向けの適応指導教室】 石川県 7か所 富山県 なし			

学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	532				532							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			1,341	1,301	1,007	532	利用者は不登校や引きこもりの状態にあり、週2回の活動の負担は大きいため、週1回に変更したことによる減額					
2月現計予算額の推移			769	1,009	1,007							
決算額の推移			121	377								
前年度までの主な増減理由		令和3年度：令和2年度の利用実績により、消耗品費を減額 令和4年度：利用者の負担軽減のため、1回あたりの時間を3時間から2時間に変更したことによる減額										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	自立した子供たち（人）	(目標)	(2)	(3)	(3)	(2)			本事業では一人一人の子どもの状況に合わせて支援を行うものであり、数値による中間・最終目標設定はなじまないが、前年度に把握している生徒数をもとに、翌年度の目標を設定する。			
		(実績)	1	2								
活動指標	利用者数（人）	(目標)	(8)	(10)	(12)	(3)			前年度の利用者のうち、継続利用者に新規利用者見込みを加えて設定している。実績については、令和5年4月に判明			
		(実績)	2	7								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
一人一人の生徒の状況および希望に応じて、必要とする支援を行っているところ。数値目標の達成状況は4月以降に判明。 令和5年2月現在、自立した子ども1名 (自立活動を実施し、事業所での就労が決定)				利用者が負担なく継続して活動できるよう、活動時間を週2回から週1回に変更する。 利用希望者が遠方在住の場合、ICTを活用して支援を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	475	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			課名 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R4 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]					関連する県の計画等 [福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領を踏まえ、Society5.0を地域から分厚く支える人材育成に向けた教育改革を推進する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域を支えるリーダーを育成するとともに、高等学校の機能を強化する必要がある。					
[事業目的] 県立高校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働して、地域の課題を発見・解決する取組を推進することで、将来地域を支えるリーダーとなる人材を育成するとともに、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。											
[事業内容] ○地域魅力型：(対象校) 三国高等学校 (内 容) 多様かつ複雑な地域課題を解決するための街づくりを推進し、地域で生きる人々が生き活きと暮らす活力を創出する人材を育成 ○プロフェSSIONAL型：(対象校) 科学技術高校 (内 容) 地域の関係企業と協働して企画・提案・設計等を行う科技ラボを通して、変化する社会に適応し地域産業を牽引する技術者を育成											
[受益者] 指定校の全校生徒						[想定される受益者数] 三国399名、科学技術474名					
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スーパープロフェSSIONAL・ハイスクール事業 (実績) 若狭東高校 H27～29 薬用植物の産地化や植物工場などの高度な施設園芸を取り入れ、生産から調理・加工・販売までを実践する独自プログラムを実施				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況					

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等											
予算額																		
[予算額の推移等] (単位：千円)																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移		7,314	20,274	13,937	5,222													
2月現計予算額の推移		7,314	16,274	10,100	4,708													
決算額の推移		6,104	10,395	7,812														
前年度までの 主な増減理由	令和2年度：採択校数が2校から4校に増えたため 令和3年度：採択校数4校の実施計画に応じた減額 令和4年度：4校のうち2校の事業期間が令和3年度中に終了したことによる減額																	
[成果指標等の推移]																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	高校生による地域貢献活動数(回)	(9)	(9)	(9)	(9)		(9)	(9)	本事業は、生徒による地域課題の解決を図ることで将来の地域を担うリーダーを育成することを目的としているため、成果指標については生徒が実施した地域貢献活動の回数とする。									
	実績	9	9	10	10		9	10										
活動指標	各校における地域貢献活動のための協議会開催数(回)	(4)	(4)	(4)	(4)		(4)	(4)	本事業は、市町や地域と高校が協働し生徒の実施する取組を支援するため、地域と高校が共同で開催する協議会の開催数を活動指標とする。									
	実績	4	4	3	5		4	5										
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価										
活動指標・成果指標ともに目標を超えて達成した。 (参考：各校の地域貢献活動) 三国高校：えちぜん鉄道応援プロジェクト、三国祭スタッフ 科学技術高校：足羽山動物園応援プロジェクト、 北陸新幹線開業カウントダウンボードの製作				文部科学省からの指定期間終了に伴い、事業完了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	5,222							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

統合型WEB出願システム運用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 教職員・事務員の負担軽減のため、学校における業務改善を進める必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 県立高校全体の教職員・事務員の入試業務時間 834時間（出願処理のみ） 1校あたり4名が5日間出願事務に従事（通常業務に加え、2時間/人・日の業務増）					
[事業目的] 県立学校入試におけるインターネットを利用した統合型WEB出願システムを導入することにより、出願手続きのペーパーレス化および、書類作成、願書受付、名簿作成等の業務負担の軽減を行う。また、出願者名簿を基にしたWEB上の合格発表を行うことで迅速な情報公開を行う。											
[事業内容] 教員の業務効率化を図ることで、生徒と向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるため、統合型WEB出願システムを導入する。											
[受益者] 中学校・高校教員、志願者（保護者）						[想定される受益者数] 毎年約6,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	広島県 公立中高一貫校で導入済み 静岡県 公立中高一貫校で令和5年度入試より導入予定 川口市 公立中高一貫校で導入済み 国立中学校 7校で導入済み 県内私立 福井中学校、敦賀気比中学校で導入済み				

統合型WEB出願システム運用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度		
事業実施方法	直営					事業 区分						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,619				4,619							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				29,531	5,134	4,619	令和4年度に高志中学校のWEB出願システム導入が完了したため、令和5年度は運用経費分のみに減額					
2月現計予算額の推移				29,531	5,134							
決算額の推移				29,531								
前年度までの主な増減理由	令和4年度：県立高校WEB出願システムの構築が前年度に完了したため、運用経費のみに減額 高志中学校のWEB出願システム導入経費を計上											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								システムの導入に係る事業であり、定量的な目標値を設置することは困難である。			
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
令和5年度入試（令和4年度実施）において、高志中学校がWEB出願システムを導入、運用開始した。 (参考) 令和5年度入試（令和4年度実施）におけるシステム利用者数 高校：6,730人 中学：308人				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

第44回近畿高等学校総合文化祭開催準備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	準備委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 令和6年度の第44回近畿高等学校総合文化祭福井県大会開催						[問題・課題を表す客観的データ] 他県開催時の参加者数(教員、生徒、観覧者の総数) R3:滋賀県 8,710人(観覧なし) R2:奈良県 4,617人(WEB開催) R1:京都府 17,030人						
[事業目的] 10年に1度となる近畿高等学校総合文化祭福井大会の成功に向けて、前年度に関係生徒・教員が他県の視察や必要な会議および準備を行い、開催に向けた気運の高まりと企画内容の充実、大会の円滑な運営に役立てる。												
[事業内容] (1) 各種委員会の開催、視察 ア 準備委員会 2回(7月、2月) イ 専門委員会 3回(7月、11月、1月) ウ 総合開会行事部会 6回(7月、8月、9月、10月、12月、2月) ※うち3回はオンライン開催 エ 前年度開催県(三重県)視察 (2) 開催準備 ア 大会テーマ、ポスター原画、テーマ墨書、イメージソング(詞・曲)を募集・表彰 イ イメージソングの編曲 生徒から募集したイメージソングを、大会初日の総合開会行事の全員合奏・合唱曲用に編曲し、楽譜を制作												
[受益者] 福井県を含む近畿10府県の参加者						[想定される受益者数] 約6,000名						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 第34回近畿高等学校総合文化祭開催準備事業 (実績) ・第34回近畿高等学校総合文化祭プレ総合開会式 平成25年10月26日(土) 参加者数 約670名(県内) ・H25当初予算 5,814千円(一般)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 近畿高等学校総合文化祭派遣事業 (役割分担) 本事業(開催準備事業)は近畿総文福井県大会を開催するための準備に係る費用であり、関連事業(派遣事業)他県開催の近畿総文に参加するための派遣にかかる費用である。				
市町との連携状況						他県の状況		開催前年度の予算 令和元年度 奈良県 1,200千円 令和2年度 滋賀県 5,778千円 令和3年度 三重県 3,007千円				

第44回近畿高等学校総合文化祭開催準備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	準備委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,523				1,523							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						1,523						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井大会参加者数(人) (目標) 実績							(6,000)	福井県を含む近畿10府県の参加者数			
活動指標	会議開催数(回) (目標) 実績					(11)		(17)	準備委員会・実行委員会、企画委員会、専門委員会、総合開会行事部会の実施回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

全国高校生プレゼン甲子園開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	実行委員会				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領がR4年度高校第1学年から実施されたことを受け、新要領が求める、生徒が自分の考えや思いを適切に表現することができる力を養成していくことに課題がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 高校生学習状況調査の結果より、 ・普段の授業の中で、話し合う活動をよく行っているか。「そう思う」の割合37.2% ・普段の授業の中で、自分の考えを他の人に説明したり、表現する活動を行っているか。「そう思う」の割合30.0%						
[事業目的] 全国高校生プレゼン甲子園を開催し、高校生の論理的思考力や表現力、創造力の育成やプレゼンテーションスキルの向上を図る。												
[事業内容] 時期：令和5年4月～8月 対象：全国の高校生（3人1組で応募） ※北信越を対象に重点的に周知 内容：・予選 テーマに沿ったプレゼンテーション動画を作成し、大会HPに提出 ・決勝 予選審査を通過した上位10組による決勝を実施 決勝大会の様子は動画で配信 決勝進出者には福井県の特産品や恐竜博物館年間パスポートを副賞・参加賞として贈呈												
[受益者] 参加生徒						[想定される受益者数] 3,000人(R5)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

全国高校生プレゼン甲子園開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,250				5,250							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,791	5,250	・宿泊費の増加（宿泊費単価の上昇、決勝大会当日の後泊費用） ・参加者交流会の実施（決勝大会後）					
2月現計予算額の推移					2,335							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加チーム数（チーム） （目標） 実績			409	(800) 441	(470)	(470)	(500)	県内300チーム 県外は前年度エントリー数×1.2倍 (R3 121、R4 141、R5 170)			
活動指標	大会チラシ送付先数 （件） 実績			90	(90) 90	(90)	(90)	(90)	福井県を除く46都道府県教委および福井県内高等学校（私立含む44校）			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標を達成したが、成果指標は未達成であった。 （外的要因） コロナの収束が見通せず、県外参加チーム数が伸びなかったため、 参加チーム数は3年度実績の1割増となる441チームにとどまった。 参加学校数については、3年度実績の1.3倍に増加した。 （参考 応募学校数 R3年度 85校 R4年度 107校）				・参加者アンケートでは参加者同士が意見交換する場がほしいという声があったため、決勝大会後に参加者交流会を新たに実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2、1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] 生徒たちの豊かな才能を伸ばし、世界に視野を広げる機会を提供し、優れた科学技術人材を育む						[問題・課題を表す客観的データ] 全国科学オリンピックへの参加状況 令和3年度227名 平成30年度以降減少傾向にある。 (平成29年度282名、平成30年度280名、令和元年度253名、令和2年度189名)						
[事業目的] 生徒の個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図る。												
[事業内容] ○全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策 ○ふくい理数グランプリの開催 ・高校部門（数学、物理、化学、生物、地学）を開催 ○ふくいサイエンス顕彰（南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞） ・小学生部門（最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2）、中学生部門（最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2）、高校生部門（最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2） ○ふくいサイエンスフェスタの開催 ・福井県合同課題研究発表会および講演会の実施												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 850人（令和3年度に本事業の取組に参加した生徒の総数）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生次世代系人材育成プロジェクト (役割分担) 高校生次世代系人材育成プロジェクトでは、科学研究力の育成を目指す一方、サイエンスプロジェクト事業ではサイエンスのすそ野を広げ、数理能力の育成を目指す					
市町との連携状況						他県の状況	・いしかわ高校科学グランプリ（石川県）					

ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2、1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,862			諸収入 3,691	2,171	国立研究開発法人 科学技術振興機構委託						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,393	8,869	7,923	7,488	5,862	京都大学との高大連携事業終了による減額					
2月現計予算額の推移		8,393	8,869	7,923	7,488							
決算額の推移		7,574	7,632	6,084								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 福井県合同発表会の会場変更に伴う減額 令和4年度 京都大学講師招聘事業の終了による減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	科学系の全国大会上位入賞者数(人) (目標) 実績	(5) 2	(5) 0	(5) 0	(5) 6	(5)	(5)	(5)	本事業を通じて、科学系の全国大会で上位入賞を果たした生徒・チーム数			
活動指標	ふくいサイエンスフェスタ参加生徒数(人) (目標) 実績	(220) 408	(220) -	(220) 254	(220) 433	(220)	(220)	(220)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標・成果指標ともに目標達成した。 全国大会の実施も再開されるようになり、探究活動の場の提供が行われ、全国大会への参加や実績も増加している。				京都大学との高大連携事業終了による減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	390	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

高校生次世代理系人材育成プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助								R5 年度 経過年数		
補助率	定額								1 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
文部科学省が、20年を超えるSSH長期指定校について予算削減と打ち切り方針を発表している						各校のSSH指定年数 藤島高校19年目 (R5まで) 高志高校20年目 (R4まで) 武生高校15年目 (R9まで) 若狭高校12年目 (R12まで)					
[事業目的]											
SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業の20年超指定校の予算打ち切り方針を踏まえて、県独自の科学技術人材育成に係る特色ある取組みを推進する。											
[事業内容]											
(1) 20期SSHの支援 対象：SSH4校(藤島、高志、武生、若狭)理数科設置校(武生東、敦賀) ①物理、生物、化学、医学等の様々な分野のトップクラスの講師(ふるさと納税企業含む)がオンライン等でゼミと助言 ・高校の放課後の時間(7限目)を統一し、大学教授の助言、複数高校による協働探究の時間を確保、ゼミ(3回)を実施 ・3日間程度の夏季サマープログラムを教育総合研究所等で実施(対面) ・企業、大学等で行う生徒研修(信越化学工業、田中化学研究所等)(ふるさと納税メリット) ・ふるさと納税した企業について、企業PRや社会貢献の一貫として高校生に講演できる機会を個別に声掛け ②個々の生徒の夢実現応援プロジェクト～生徒研究支援～ ・将来進路として希望する理数分野の研究について、大学教授の助言や研究室での実験費用の応援(材料費、報償費、旅費等) ③高校生の探究活動を大学生が支援し、その活動を大学が単位化また、大学講義を高校生が早期履修(福井大学) (2) 研一タサイエンス教育センター(仮称)(教育総合研究所内)の設立 ①教科「情報」の教員免許認定講による高校指導者の養成 38人程度 ②企業、大学(滋賀大学やお茶の水女子大学)との連携による教員、生徒を対象にした公開講座、研修講座の実施 ③嶺南地区普通科高校にデータサイエンスの科目を開設											
[受益者] 教職員、対象校の生徒						[想定される受益者数] 約4,200人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいサイエンスプロジェクト事業 (役割分担) 高校生次世代理系人材育成プロジェクトでは、科学研究力の育成を目指す一方、サイエンスプロジェクト事業ではサイエンスのすそ野を広げ、数理能力の育成を目指す			
市町との連携状況						他県の状況		石川県：SSH指定期間終了校において理数系教育推進事業 岩手県：県版SSH事業			

高校生次世代系人材育成プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,647				5,647							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						5,647						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国規模の科学研究コンテストの受賞数(件) (目標) 実績		1	1	2	(2)	(3)	(4)	科学研究コンテスト、研究発表会における受賞について、H30～R4平均から倍増			
活動指標	研究公募への応募数(件) (目標) 実績					(12)	(15)	(30)	対象6校から各5件の応募			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

高大連携による地域人材育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] 地元大学への理解を深め、高校生の地元大学進学を増加させることが課題である。						[問題・課題を表す客観的データ] 県立高校の地元国公立大(福井大・福井県立大)合格者数 H24 福井大学380人、福井県立大147人 計527人 卒業生に対する合格者割合9.4% R2 福井大学248人、福井県立大178人 計426人 卒業生に対する合格者割合8.2%						
[事業目的] 高校生が大学での学びを知るとともに、主に地元大学教員や企業・団体の研究員、OB大学生等が探究アドバイザーとして、地元大学への志望が多い高校（拠点校）で課題研究の指導を行うことで、高校や生徒と地元大学とのつながりを密にし、将来的に地域で活躍していく人材を育成することを目的とする。												
[事業内容] 拠点校での探究活動支援 地元大学への進学を希望する生徒を対象とした、地元大学教員による探究活動テーマを対象高校で特設し、年間を通じた大学教員からの指導を生徒が受けることで推薦や総合型選抜入試への材料とする。また、生徒が地元大学を訪問して実験やフィールドワークを行うことで、大学への理解を深め、進学意欲を喚起する。 対 象 普通科高等学校 4 校（金津、大野、武生東、敦賀） 内 容 探究アドバイザーへの謝金、大学訪問のためのバス使用料												
[受益者] 拠点校生徒						[想定される受益者数] 約1,100人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいプレカレッジ事業 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

高大連携による地域人材育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成							
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等											
予算額	3,237					3,237												
[予算額の推移等] (単位：千円)																		
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移			3,340	3,413	5,910	3,237	課題解決能力を育成するワークショップの廃止 事業対象校（拠点校）を3校から4校に拡大											
2月現計予算額の推移			3,340	3,413	5,410													
決算額の推移			2,249	2,904														
前年度までの主な増減理由		令和3年度：学問発見講座を廃止し、事業対象校5校（拠点校）に重点的に予算配分 令和4年度：学校間連携コーディネーターの配置および課題解決能力を育成するワークショップ開催を新たに実施 拠点校を5校→3校に変更																
[成果指標等の推移]																		
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	3年後の県内4年制大学への進学者（進路実態調査）（人）	(1,150)	(1,180)	(1,230)	(1,230)	(1,230)	(1,230)	(1,240)	R5年度の県内4年制大学への進学者数 卒業予定者数 6,909人全体に占める割合が18%（H30時点16%より2%増）									
	実績	1,183	1,228	1,139														
活動指標	大学アドバイザーによる高校生への指導・助言回数（回）		(240)	(240)	(120)	(120)	(120)	(120)	拠点校1校あたり30回									
	実績		104	131														
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価										
活動指標、成果指標ともに令和5年4月に判明				課題解決能力を育成するワークショップの完了に伴う廃止 拠点校を3校から4校に拡大				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,673							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度		
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応した力を持つ教員の育成が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・R4.4～ 学習指導要領（平成30年告示）に基づく新教育課程開始 ・R7.1 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストに「情報」出題						
[事業目的] 新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応するために、教員の資質・能力の向上を図る。												
[事業内容] <ul style="list-style-type: none"> ○新入試対応指導研修 新入試に対応する問題作成力を高めるための研修会（情報） ○授業研究会、授業改善研修会への支援（大学教授、先進校講師による授業改善のための教員研修） 各学校が管理職および授業力向上リーダーによる授業力向上チームを設置し、個々の学校の課題に応じた独自の授業改善案を検討するほか、授業改善に必要な外部有識者を招聘した公開授業や授業研究会等の授業改善計画を策定 ○生徒の学習意欲等把握調査 進路意識・キャリア教育に関すること、家庭学習・生活に関すること、授業や学習に関することのほか、生徒の満足度を新項目として追加調査結果を各学校へフィードバックし、各学校は調査結果を分析・対応策を報告 												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 21,856人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・授業力向上リーダー研修会の実施 ・新入試対応受験指導エキスパート研修を実施 ・授業研究会、授業改善研修会への支援 ・生徒の学習意欲等把握調査を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,989			繰入金 4,999	1,990	教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			8,469	9,532	6,994	6,989	新入試対応研修における研修時間の短縮					
2月現計予算額の推移			6,508	5,130	5,632							
決算額の推移			3,992	4,683								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度：新入試対応指導研修の実施教科目数を増加（5教科9科目→5教科10科目） 令和4年度：新入試対応指導研修の実施教科を「情報」のみに変更（5教科10科目→1教科1科目）											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生徒から見た授業のわかる度指数 (%)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	高校生学習状況調査			
		実績 79	80	79	83							
活動指標	新入試対応研修の参加者数 (人)	(150)	(150)	(150)	(100)	(100)	(100)	(100)				
		実績 228	-	-	104							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標・成果指標ともに目標を達成した。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

生徒の進学希望実現支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 県立普通科系高校では、難関国公立大学、地元国公立大学、私立大学等、多様な進学希望を保證することが求められ、各校の実情に合った取り組みを県教育委員会として支援し、学校と連携して生徒の進学希望実現を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・普通科系高校（16校）3年生の進路志望 難関国公立大15.5%、地元国公立大35.3%、私立大17.8% ・地域の普通科系高校（12校）の難関国公立大志望者 60名 ※R4.3月合格者 10名					
[事業目的] 生徒の進学希望実現のため、生徒の学力の向上と進路意識の涵養を図り、各校の進学指導体制を支援・強化する。また、「福井県大学進学サポートセンター」を設置し、地域の普通科系高校に在学する高い志を持った生徒が在籍校に通いながら難関大学を目指すことができる進学支援体制を確保する。											
[事業内容] (1) 一般選抜入試による大学進学希望者に対する受験対策への支援 各学校が自校の実情に応じて予備校講師を招聘し、各校の生徒の苦手分野に特化した教科別講座や、授業進度に応じた講座を実施 (2) 総合型選抜入試による大学進学希望者に対する受験対策への支援 拡大する総合型選抜入試に対応するため、大学教員等を招聘し、大学での学問に関する講座や課題研究への指導・助言 (3) 高校生のための進路支援講座の開催 「1年生のための大学進学セミナー」 高校1年生に対し、保護者も含めた進学指導を実施し、各校の進学指導を支援 (4) 「福井県大学進学サポートセンター」の運営 地域の県立普通科系高校（12校）に在学し、難関大学への進学を目指す生徒の学習を支援するため、県教育委員会内に「福井県大学進学サポートセンター」を運営											
[受益者] 県立普通科系高校16校の生徒						[想定される受益者数] 約9,000人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・1年生対象大学進学セミナーの実施 ・大学進学者の多い高校における進学対策への支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

生徒の進学希望実現支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金		経過年数		
補助率	—							□ その他		4 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,533				4,533							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			8,731	8,868	5,156	4,533	一般選抜入試支援、総合型選抜入試支援、「1年生のための大学進学セミナー」講師人数の見直しによる減額					
2月現計予算額の推移			6,214	6,418	4,376							
決算額の推移			5,272	5,770								
前年度までの主な増減理由	令和3年度 大学入学共通テストプレテストの経費(会場費)増 令和4年度 大学入学共通テストプレテストの廃止 「地域の普通科高校生向け進学支援事業」を統合 総合型選抜入試に向けた受験対策への支援メニューを追加											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県立高校卒業生数に対する国公立大学の合格率(%)	(目標) (23.0) (実績) 23.7	(24.0) 26.2	(24.2) 25.8	(24.4)	(24.5)	(24.5)	(24.5)	目標：H31～R3年度の平均(24.5%)以上			
	国公立大学の総合型選抜入試等の定員に対する、県立高校からの合格者数の割合(%)	(目標) (1.52) (実績) 1.52	(1.31) 1.31	(1.34) 1.34	(1.45)	(1.45)	(1.45)	(1.55)	目標：H31～R3年度の平均(1.41%)の1割増			
活動指標	「福井県大学進学サポートセンター」登録者数(人)	(目標) (人) (実績) (人)		(100) 178	(100) 252	(150)	(150)	(150)	約50人×3学年			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標を超えて達成しており、成果指標は令和5年4月に判明。				一般選抜入試、総合型選抜入試に向けた受験対策支援および「1年生のための大学進学セミナー」において、実績を踏まえて講師人数・旅費を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	623	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]			
[解決すべき問題・課題] 自宅での勉学に励む県内既卒生の学習環境を整備する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 大学進学を目指す県内出身の既卒生数 (総数) R1 : 239 R2 : 190 R3 : 159 R4 : 174 (県内) R1 : 92 R2 : 90 R3 : 80 R4 : 75					
[事業目的] 県内既卒生の大学進学希望の実現を支援するため、自学自習できる学習環境を整備する。											
[事業内容] ○福井駅前に大学進学サポートセンターを設置し、自学自習できる学習室において、退職教員が学習を支援する。 ○1日1～2教科の学習会を実施するほか、模擬試験、進学相談などの支援を実施する。											
[受益者] 大学への進学を希望する既卒生						[想定される受益者数] 約80名					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) H28 : 77名、H29 : 78名、H30 : 80名、H31 : 78名、R2 : 79名、 R3 : 64名、R4 : 79名の既卒生がサポートセンターに登録した。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金				
補助率	—							□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,355				3,355							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,349	3,312	3,352	3,355	光熱水費（電気代）の高騰に伴う増額					
2月現計予算額の推移			3,349	3,312	3,352							
決算額の推移			3,286	3,287								
前年度までの 主な増減理由		令和3年度：光熱水費の実績による減額 令和4年度：複写機の契約更新に伴い、所要額増										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	大学進学サポートセンター登録者の大学入試合格率（%） (目標) 実績		(58.0) 57.7	(58.0) 51.9	(58.0) 50.0	(58.0) (58.0)	(59.0)	(60.0)	令和元年度の実績をもとに目標設定			
活動指標	大学進学サポートセンター登録者数（人） (目標) 実績	(55) 78	(55) 79	(55) 64	(55) 79	(55)	(55)	(55)	大学進学サポートセンターの最大使用可能席数（55席）を目標設定			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標を越えて達成しており、成果指標は令和5年4月に判明。				登録生同士および講師との連携を強め、集団として受験に臨む体制を作るため、交流会を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
離職率の低減を目的に体験活動を通して、就労意識の向上を図り、的確な職業選択ができる能力を育成する必要がある。						県内高校生の3年目離職率は34.8%（全国35.9%） 全国平均よりは離職率が低いが、さらに改善する必要がある						
[事業目的]												
地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。												
[事業内容]												
<p>企業の生産現場における実践的な実習等を実施し、地元就職する高校生が産業界で活躍できるよう支援</p> <p>○実践的な専門教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムを職業系高校で実施 <p>○県内企業への就職促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業でのインターンシップを職業学科設置校1校、定時制7校、就職者の多い普通科設置校7校の2年生を中心に実施 <p>○産業人材コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援のため、求人開発や就職指導を行う産業人材コーディネーターを配置 												
[受益者] 県内職業系高校および就職者の多い普通科系高校の2・3年生						[想定される受益者数] 約3,900人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井フューチャーマイスター事業 (役割分担) 本事業では、インターンシップや長期企業実習の実施、産業人材コーディネーターの配置による就職支援を行う。 福井フューチャーマイスター事業では、就職に向けた技術習得の支援を行う。					
市町との連携状況						他県の状況						

高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	12,116	3,618			8,498		教育支援体制整備事業費補助金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		16,503	16,724	14,262	14,058	12,116	長期企業実習を休止 令和5年10月の全国産業教育フェア福井大会の開催に向け、各専門学科がイベント実施の準備を行うため、生徒の活動時間を確保したい。					
2月現計予算額の推移		12,808	11,853	10,979	11,028							
決算額の推移		11,177	9,920	10,055								
前年度までの主な増減理由		令和3年度 産業人材人材コーディネーターの任用期間見直しに伴い減額（11か月→10か月）										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	高校卒業者の離職率 (%)	(目標)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	・当該年度に新卒就職（高卒）した者の1年目に離職率 ・H25～29年度平均 16.1%を下回るよう設定			
		実績	13.9	11.9	15.8							
活動指標	インターンシップ体験者数 (人)	(目標)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,300)	(1,900)	職業学科、定時制高校、インターンシップ希望者のいる普通科設置校の2年生（約2,000人）のほぼ全員が体験できるよう活動指標を設定。			
		実績	1,869	385	1,008	1,341						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標未達成となった。 (外的要因) コロナ禍によりインターン等の受入企業確保が引き続き困難であったため。 成果指標については令和5年10月に判明。				全国産業教育フェア福井大会開催のため、生徒の負担増を考慮し、長期企業実習を休止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,942	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] より高度で専門的な知識・技術を生徒に習得・定着させるためには、マイスターや高度技術者等による技術指導が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 本事業の制度検討会議において、県内企業より、即戦力となる生徒や、様々な業務に対応できる意欲の高い生徒を求めている。						
[事業目的] 職業系高校の生徒を対象に、専門知識と技術の習得の証である資格・検定の取得を支援することにより、将来の地域の産業・社会の発展に寄与する科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる職業人の育成を目指す。												
[事業内容] ○高度技術者による職業人育成 県内企業等から高度技術を有する技術者等の招聘を行い、生徒の専門知識・技術の習得を支援 ○福井フューチャーマイスター事業 資格取得の受験料を補助し、資格の難易度、取得数に応じ、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの4グレードで「福井フューチャーマイスター」を認定												
[受益者] 職業系学科の生徒						[想定される受益者数] 5,584人 (令和4年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高度な職業教育推進事業 (役割分担) 高度な職業教育推進事業では、インターンシップや長期企業実習の実施、産業人材コーディネーターの配置による就職支援を行う。本事業では、就職に向けた技術習得の支援を行う。				
市町との連携状況						他県の状況						

福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27年度 経過年数 9年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6年度					
事業実施方法	直営															
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	9,165	234				8,931	教育支援体制整備事業費補助金									
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		11,438	10,895	9,601	9,014	9,165	受検実績により受検料補助(負担金)を増									
2月現計予算額の推移		11,438	10,895	9,601	9,794											
決算額の推移		9,305	7,367	8,748												
前年度までの主な増減理由		・R2年度～R4年度 資格試験・検定試験の受検実績に応じて受検料補助額を増減 ・R3年度 高度技術者による技術指導実施学科数を減 ・R4年度 高度技術者による技術指導実施回数を減														
[成果指標等の推移]																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	福井フューチャーマイスター認定率(%)	(86.0) 実績 87.2	(86.0) 86.7	(87.4) 82.3	(87.4) 82.5	(87.4)	(89.4)	(91.4)	生徒数の減少に伴い、人数ではなく認定率を目標に設定 H29年度の認定率(85%)を基準に目標数値を設定。最終的に90%以上を目指す。							
活動指標	高度技術者による講座回数(回)	77	81	(80) 78	(52) 52	(52)	(52)	(60)								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
活動指標は目標達成したが、成果指標は未達成であった。 (外的要因) コロナ禍の影響により資格取得のための指導時間が減少したため。しかし、令和3年度の認定率より微増となった。 ○福井フューチャーマイスター認定者(令和4年度) プラチナ 55名、ゴールド 609名、シルバー 414名、 ブロンズ 338名				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
各高校において地域と連携した特色ある活動を実施し、職業学科の魅力を発信していく必要がある。						職業系高校への志願者数が減少している。 一般選抜出願者数 R3年度1,147名、R4年度1,111名、R5年度1,094名					
[事業目的]											
職業系高校の生徒が、地元産業界等と協働し実践的な学習活動を行うことで、将来の地域の産業・社会を担い発展に寄与する人材を育成するとともに、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる次代の福井の産業を担う職業人を育成する。											
[事業内容]											
○職業学科の魅力発信プロジェクト ・職業系高校において多様な県内企業と連携した特色あるプロジェクト活動を実施											
[受益者] 職業系学科生徒						[想定される受益者数] 5,584人 (令和4年度)					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科による次代の産業人材育成検討会議 (実績) 職業系高校と企業、大学等による会議 15回開催					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高度な職業教育推進事業 (役割分担) 本事業では、地域と協働して職業系高校の魅力を発信を行う一方、高度な職業教育推進事業では、生徒の就職支援を行う。				
市町との連携状況						他県の状況					

協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,100				2,100							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,898	5,507	5,495	7,475	2,100	昨年度まで実施していた「ふくい産業教育フェア」は、令和5年度に全国産業教育フェア福井大会が開催されるため、実施しない。令和6年度から再開する。 令和5年度の魅力発信プロジェクト対象校は、おみやげ開発を行う6校以外休止する。休止5校については令和6年度から再開する。					
2月現計予算額の推移		4,898	5,507	5,495	7,475							
決算額の推移		4,344	4,054	4,951								
前年度までの 主な増減理由		令和2年度：ふくい産業教育フェア開催事業の新規追加による増額 令和3年度：職業系学科による次代の産業人材育成検討会議の廃止による減額 令和4年度：令和5年度全国産業教育フェア福井大会開催を見据えた催事拡大のため増額										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	職業系高校生生徒数の県内就職率(%)	(92.0)	(92.0)	(92.0)	(92.0)	(92.0)	(92.0)	(92.0)	本事業を通じて各学校が多くの企業と繋がり、それらの企業に生徒が就職し福井を支える人材となることから、成果指標を県内就職率とする。			
		実績 91.0	91.0	91.2								
活動指標	職業系学科魅力発信プロジェクト実施数(件)	(13)	(13)	(12)	(11)	(6)	(11)	(11)	すべての職業系高校において1件以上の実施を目標とする。			
		実績 13	13	12	11							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標通り達成した。成果指標は令和5年4月に判明。				全国産業教育フェア福井大会の開催に伴う生徒の負担を軽減するため、令和5年度は新幹線開業に向けたおみやげ開発に特化し、プロジェクト実施校を6校に縮減する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,375	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度
事業実施方法	直営			事業区分		事業区分	事業開始年度		H24 年度		
補助率	—						事業開始年度		経過年数 12 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
Society5.0に向けて技術革新が進む中、職業系高校で教える内容や技術も進展しており、それに対応できるよう教員の資質向上を図る必要がある。						教員が、現場における最先端の技術や知識に触れる研修機会がない。					
[事業目的]											
教員が最先端の専門知識や技術を学ぶことができるよう県内外における研修を実施し、教員全体の資質向上と学校の活性化を図るとともに、地元民間企業の技術者等による講義や技術指導を実施し、高度な知識・技術を取り入れた実践的内容の授業を展開する。											
[事業内容]											
職業系学科の担当教員を県内・県外の試験研究機関、民間企業等に派遣し研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工業、農業、水産、家庭、商業の職業系科目を専門とする教員や実習助手が対象 ・県内、県外の試験研究機関、民間企業、研究指定校等で研修し、最新の専門知識や技術を習得 ・工業、農業、水産、家庭、商業から選出 ・県内研修：夏期休業中等の3日間程度、県外研修：最大3日間程度 ・研修成果の教育現場への還元（高教研各部会等での研修報告や部会誌での報告書掲載、研修で学んだことを取り入れた副教材の作成 等） 高度技術を扱う地元民間企業の技術者と教員が連携して教材研究や授業研究を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・高度技術を有する人材を招聘し、職業学科における教員および生徒の専門的知識と技術の習得を支援 ・週1回2時間の講義および技術指導を年間5回実施 											
[受益者] 職業系学科担当教員、職業系学科の生徒						[想定される受益者数] 約5,600名					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科教員授業力向上事業 (実績) ・H24～26年度参加教員実績 延べ200人の教員が参加					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	527			繰入 527		教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		556	1,381	677	527	527						
2月現計予算額の推移		280	1,054	340	237							
決算額の推移		255	315	310								
前年度までの主な増減理由	令和2年度に特別教員による先端授業を新設、教員短期派遣研修の派遣人数を2名増 令和3年度に特別教員による先端授業の回数および実施校数について見直しを実施 令和4年度に教員短期派遣研修の県外研修期間を最大3日間に短縮											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								職業系学科教員の技術・技能の向上を定量的に把握することは困難であるが、産業界と連携し職業系学科教員の指導力の向上を目指す。			
活動指標	派遣研修参加教員数 (人) (目標) 実績	(8) 8	(9) 9	(9) 8	(9) 9	(9)	(9)	各学科2名程度の研修参加を目標(対象校数を考慮し水産科のみ1名) 本事業を通じて研修を受けた教員数 86名				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標どおり達成した。 成果指標は定量的に把握できないが、令和4年度研修報告書からはスキル向上が認められる。 ・プログラミング教育の導入教材の扱い方、オープンソース活動等を学び、スキル面が向上した(工業) ・栽培方法など、今後の圃場運営に活かせる技術を習得した(農業)				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度
事業実施方法	直営								事業 経過年数	3 年	
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
産官学が一体となって次世代地域産業人材の育成体制を構築し、将来を見据え最先端を取り入れた新しいカリキュラム開発が急務となっている。						職業系学科の入学者が定員に達しておらず、職業人材育成とカリキュラムの抜本改革を図る必要がある。 (職業系学科一般入学選抜の志願者倍率：H31年度 0.98、R2年度 0.83、R3年度 0.92)					
[事業目的]											
産業界と専門高校が一体・同期化し、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築し、専門高校の職業人材育成の抜本改革を図る。											
[事業内容]											
第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築 <input type="checkbox"/> 産業界他関係者一体となったカリキュラム刷新・実践（コース、学科改編等） <input type="checkbox"/> 企業技術者を教員として採用（マイスターハイスクール版クロスアポイントメント） <input type="checkbox"/> 企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用 <input type="checkbox"/> 専攻科設置や高専化、大学連携等の一貫教育課程導入等の抜本的な改革 など											
【福井県立坂井高等学校】 (内容)：学科横断型DX研究による次世代産業人材育成体制の構築 【福井県立若狭高等学校】 (内容)：若狭地域のWell-beingを実現するため地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発											
[受益者] 指定校の職業系学科生徒						[想定される受益者数] 坂井713人 若狭184人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成							
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等											
予算額	16,958	16,958				文部科学省委託「マイスター・ハイスクール事業」												
[予算額の推移等]												(単位：千円)						
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移				15,452	36,123	16,958	・不採択分（武生商工高校）の減額											
2月現計予算額の推移				24,233	16,559													
決算額の推移				16,043														
前年度までの主な増減理由	令和4年度 武生商工高校の申請分を増額																	
[成果指標等の推移]																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	商品化・実用化された取組数（件）			(0)	(1)	(6)	(7)	(14)	企業や大学と連携し開発した製品・システムの中で商品化および実用化された数（累積）を指標とする。事業終了年度の令和5年度の目標を3件とする。									
	実績			1	5													
活動指標	企業技術者による授業数（回）			(50)	(75)	(75)			外部人材を活用した授業数を指標とする。									
	実績			97	206													
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価										
活動指標・成果指標ともに目標を達成した。				不採択分（武生商工高校）を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	19,165							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

ふくいの産業とデジタル教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] Society5.0の時代において、産業分野の融合や新産業の創出など社会が大きく変化し行く中で、学校教育においては、依然として農業、工業、商業などの枠組みでカリキュラムが編成されている。経済発展と社会的な課題を解決する新たな価値を生み出し、社会に貢献することができる人材を育成するため、大学科の枠を超えてたカリキュラム編成等が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 職業系高校共通の科目や福井県オリジナルの情報講座はこれまでなかった。						
[事業目的] シームレスな産業構造に対応した、福井県独自の職業学科共通科目「ふくいの産業」講座を充実するとともに、プログラミングの指導ができる人材を育成するなど、デジタル教育の充実を図るために、すべての職業系高校において外部講師による授業や研究会を実施する。												
[事業内容] ①職業学科共通で「ふくいの産業」について学ぶために、外部人材による授業を実施 ・ 地域産業の現状や行政および先端企業の取組を学ぶために、行政担当者、経営者・技術者等を講師に招いた授業を実施 ・ 外部講師による授業を、毎週火曜日午後に一斉配信 ②農業分野での生産管理や介護・医療分野でのA I分析による診断など、産業界が直面する様々な変化に対応する情報教育を行うために、職業学科共通で学ぶ、専門家による授業・実習を実施 ・ A IやI o T、高度なW e bデザインについて、大学や企業など外部人材の活用した授業をシリーズで実施 ・ 授業で実践的に活用できるデジタル教材を制作（アプリケーション開発、動画編集、情報セキュリティ等に関する動画） ・ 最新の情報教育を行うため、情報の専門家をアドバイザーに迎え、各職業学科の情報担当者による研究会を開催												
[受益者] 職業系高校1年生						[想定される受益者数] 約1,500人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの産業とデジタル教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	381			繰入 61	320	教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				689	782	381	令和4年度はデジタル教育推進において、教材となる動画編集の手数料を追加したが、令和5年度は教材としての動画を制作しないため。					
2月現計予算額の推移				689	782							
決算額の推移				276								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度：オープンデータを活用したアプリケーション開発のための動画制作を追加											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	職業系高校の県内企業への就職率(%) (目標) 実績			(91) 91.1	(91)	(91)	(91)	(91)	職業系高校の県内企業への意識をさらに高め、県内企業への就職率を県平均以上を目標に設定する。			
活動指標	外部講師授業数(回) (目標) 実績			(40) 25	(23) 21	(23)	(23)	(23)	オンラインでふくいの産業に関する外部講師授業年間18回、情報に関する外部講師授業を各校1回を活動指標とする。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・活動指標は目標未達成。 (外的要因) コロナ禍や各高校の行事日程の都合により、目標回数に到達しなかった。令和5年度以降は、できるだけ早期に学校・講師と日程調整を行い目標達成できるよう努める。 ・成果指標は令和5年4月に判明。				令和4年度に完了した動画制作分を減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	401	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

第33回全国産業教育フェア福井大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]					関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]			
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
第33回全国産業教育フェア福井大会の開催											
[事業目的]											
全国の専門高校等の学習成果を総合的に発表する機会を設け、生徒の学習意欲を向上させるとともに、産業界・教育界、国民一般への専門高校等の魅力定な教育内容について、理解・関心を高める											
[事業内容]											
第33回全国産業教育フェア福井大会の開催 (1) 総合開会式・総合閉会式 (2) 作品展示 (3) 体験・実演コーナー (4) 展示販売 (5) 作品・研究発表 (6) 意見・体験発表 (7) マイスター・ハイスクール事業発表会 (8) 参加・交流イベント (9) 各学科に関連する競技大会・発表会等 (10) 特別支援部コーナー (11) 記念講演 (12) 企業・大学等の展示 (13) 第61回全国産業教育振興大会											
[受益者] 県内職業系学科の高校生						[想定される受益者数] 約5,500名					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

第33回全国産業教育フェア福井大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	71,541	21,000			50,541	産業教育総合推進事業						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						71,541						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数(人) (目標) 実績					(20,000)		(20,000)	県内役員・動員で5,000人、県外からの競技等参加者で2,500人、その他観客などを含め、来場者数20,000人を目標とする。			
活動指標	開催イベント・部門数 (部門) (目標) 実績					(18)		(18)	展示や発表など6つのイベントに加え、ビジネスアイデアコンテストなど福井県独自のイベントを加え、18のイベント等を実施する。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 少子高齢化により労働力人口が減少する中、福井県の経済活性化を図るためには、本県の将来を担い牽引する若い起業家を育成し、新たな観点からビジネスを創出する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 2020年の福井県の開業率3.1% (42位) (全国平均4.4%)					
[事業目的] 県内高校生を対象に就職、進学以外の進路選択の1つとして「起業」に関する知見に触れる機会を設け、チャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」と情報収集・分析力、判断力、コミュニケーション力等の「起業家的資質能力」を育成する。											
[事業内容] ○県独自のビジネスアイデアコンテスト開催 ・コンテスト参加に向けたプラン作成の指導・助言を行う人材を派遣し、作成を支援 ・各参加チームによる15分程度のプレゼンを実施し、審査員による採点・評価を実施 ・最優秀賞については「ふくい産業教育フェア」において表彰し、他の生徒にも起業家育成の取組みをPR											
[受益者] 全県立高校全日制の生徒						[想定される受益者数] 14,192人 (令和2年度)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移				1,299	695	684						
2月現計予算額の推移				1,299	441	684						
決算額の推移				1,038	406							
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 起業家による講演会を「ふくいの産業・デジタル教育推進事業」へ移動したため、講演会にかかる予算を削減 令和4年度 講師旅費の減											
[成果指標等の推移]												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	県独自のビジネスアイデアコンテスト本選参加チーム数(チーム)	(目標) 実績		(5) 6	(6) 5	(6) 5		(8)	(10)	コンテスト本選出場チームは応募シートから評価の高いチームであり、本選出場枠を成果指標とする。なお、エントリー数の1%を最終の起業家目標数とする。		
活動指標	ビジネスアイデアコンテストのエントリー数(件)	(目標) 実績		(100) 144	(150) 57	(150) 135		(170)	(200)	エントリーシートは各学校が、状況に応じて授業や課題とすることで作成できるため、内容にこだわらずエントリー数を活動指標とする。		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標・成果指標ともに目標未達成となった。 (外的要因) コロナ禍のためエントリーに向けた授業時数の確保が困難であったため、いずれの指標も未達成となったが、活動指標については令和3年度の2倍以上の増加となった。				全国産業教育フェア福井大会にてビジネスアイデアコンテストを開催するため、令和5年度は本事業を休止し、令和6年度より再開する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	684	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] コミュニケーションを重視した英語力の向上						[問題・課題を表す客観的データ] ・授業における生徒の英語による言語活動時間の割合は全体で54.5%であるが、学科によって差がある。(普通科58%、国際科87.1%、その他の専門学科36.7% 全国50.3%) ・英語の4技能のバランスの取れた育成が求められるが、スピーキングテストおよびライティングテストを実施している学校の割合は52.2%である。(全国38.4%)						
[事業目的] 生徒の英語コミュニケーションの機会を充実させることにより、「使える英語力」を育成する英語教育を実践する。												
[事業内容] ① 高校生の外部検定試験費用を補助 ② 高校生が外国語でコミュニケーションを図る環境を整備し、共同学習や文化交流を通して、将来グローバル社会で活躍できる人材を育成 ・ 高校1、2年生(私立含む)を対象とした「オンライングローバルキャンプ」を実施 ・ 友好提携都市(ドイツや中国)の学生と交流し、友好交流を促進するとともに、海外の文化や生活習慣について理解を深める。 ③ ディベート等を通じて、高校生の論理的思考力のさらなる向上を図る。令和元年度より新たに即興型の福井県ディベート大会を開催 ・ 高校生を対象に福井県英語ディベート大会を開催し、外国語に対する興味・関心を喚起するとともに、生徒の話す力を育成 ・ 全国大会に向けての遠征費用や全国大会参加費用および旅費や宿泊費を支援 ④ 国費高校生留学促進事業より学校の語学研修費用を補助(国庫10/10)および留学フェア開催 ⑤ 留学生を受け入れるホストファミリーに対して支援 ⑥ 職業系高校1、2年生においてフィリピンの大学生とマンツーマンでタブレットを活用したオンライン英会話を年3回実施し、そのうち1/3を補助。 身について英会話力について県独自の検定を用いて評価し、合格者には認定書を発行												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 約11,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	27,100	3,300		諸収入 2,023	21,777	国庫：国際文化交流促進費（高校生国際交流促進費）補助金 諸収入：雑入（参加者負担金）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			84,328	54,838	58,890	27,100	・友好提携都市との交流に係る渡航単価の上昇 ・海外語学研修の廃止					
2月現計予算額の推移			31,618	22,034	17,663							
決算額の推移			15,416	17,342								
前年度までの 主な増減理由		R2：義務教育課より事業持替え R3：海外語学研修の人数変更（100人→50人）										
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	高校卒業時に求められる 英語力達成率（％）	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	CEFR A2以上（GTEC690以上、英検準2級以上、全商英検2級以上、工業英検2級以上）の高校生が50%以上【国の目標】※全商英検と工業英検は「みなし」としてカウント			
		実績 58	-	60								
活動指標	中高英語教員対象研修実 施回数（回）	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	年度初め・年度末および長期休業期間を除く、月1回実施			
		実績 8	8	8	8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標を超えて達成しており、成果指標は令和5年5月に判明。 （参考）外部検定試験補助事業補助人数（R5.2時点） 英検 1,331人、全商英検 1,065人、GTEC 4,167人				・友好提携都市との交流の再開 ・外国語ディベート力向上 対面実施の再開 ・海外語学研修の廃止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	26,739	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

外国人生徒支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 日本語指導が必要な外国人生徒の増加および日本語指導が必要な外国人生徒のみが入学する足羽高校の新学科設置に伴い、これまで以上に学習指導や生活指導にきめ細やかな支援が必要になる。						[問題・課題を表す客観的データ] ・日本語指導が必要な生徒数の増加 H30: 13名、R1: 12名、R2: 19名、R3: 21名、R4: 27名 ・足羽高校多文化共生日本語コース 1年17名在籍 R5定員20名程度 (未定) ・令和3年度中の日本語指導が必要な高校生等の中途退学率5.5% (全高校生等の中途退学率1.0%)						
[事業目的] 日本語指導が必要な生徒に対する支援体制を強化し、外国人生徒の教育のさらなる充実を図る。												
[事業内容] (1) コミュニケーションサポーターを配置 ・ 教員、生徒、保護者間の日本語によるコミュニケーションの補助 (2) 日本語能力試験受験料補助 ・ 外国人生徒で日本語指導が必要な生徒に対して年1回受験料を補助												
[受益者] 日本語指導が必要な高校生						[想定される受益者数] 60人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県 日本語支援員 高等学校に配置なし (小中学校に日本語教育コーディネーター2名、 大学生等による支援スタッフ7名配置) 石川県 日本語支援員 高等学校に計3名配置					

外国人生徒支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,382	3,033			6,349	教育支援体制整備事業費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				5,022	6,944	9,382	・日本語指導が必要な生徒数の増加に伴う受験料補助の増 (R4 27名→R5見込 39名) ・コミュニケーションサポーターの配置人数の増加 (R4 6名→R5 8名)					
2月現計予算額の推移				5,022	6,944							
決算額の推移				3,454								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度 双方向翻訳機の購入完了に伴う減額 コミュニケーションサポーターの配置人数増に伴う増額 (4名→6名)											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	コミュニケーションサポーター 配置校において日本語レベルが 向上した外国人生徒の割合 (%) (目標)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	日本語指導が必要な全ての生徒の日本語レベルを向上させる。 日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況に関する調査結果より			
	実績		54.5	73.3								
活動指標	コミュニケーションサ ポーターと連絡協議会の 開催回数 (回) (目標)		(2)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	義務教育課主催の外国人児童生徒等教育連絡協議会 (年3回) に併せて開催			
	実績		0	1	3							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・活動指標は達成したが、成果指標については令和5年6月に判明				・コミュニケーションサポーター配置数の増(6名→8名)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ウクライナ避難民生活支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R4 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ウクライナから避難してきた高校生が、安心して日本の高校で学習できる体制の確保						[問題・課題を表す客観的データ] ウクライナから避難した高校生 3名					
[事業目的] ウクライナから避難してきた高校生が、安心して日本の高校で学習できるよう支援体制を確保し、自立できる力を育成し、共生社会の実現に向けた教育の充実を図る											
[事業内容] ○ウクライナから本県に避難してきた高校生が県立高校に通う際に、教員・生徒・保護者間の意思疎通を支援するコミュニケーションサポーターを各校に配置											
[受益者] ウクライナからの避難生徒						[想定される受益者数] 3名					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 外国人生徒支援事業 (役割分担) 外国人生徒支援事業において、ポルトガル語のコミュニケーションサポーターを配置 本事業は英語のコミュニケーションサポーターを配置				
市町との連携状況						他県の状況					

ウクライナ避難民生活支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,348				2,348							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,348							
2月現計予算額の推移					780							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								支援体制の確保について、定量的に把握することは困難である			
活動指標	避難生徒が通う県立高校への コミュニケーションサポ ーター配置率(%) (目標) 実績				(100) 100			(100)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
ウクライナから避難した高校生が在籍する県立学校に、令和4年9月 からコミュニケーションサポーターを配置し、活動指標を達成した。				外国人生徒支援事業において必要なコミュニケーションサ ポーターを配置(事業を集約)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,348	
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

特別支援教育に関する支援体制充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ○市町によって現状や課題が様々であり、特に、特別支援教育専任の指導主事のない市町教育委員会において、所管学校への指導や市町の支援体制が不十分 ○特別な支援を必要とする児童生徒の増加により、特別支援教育の経験が浅い担当者数が急増し、専門性の維持・向上を図る研修等が必要						[問題・課題を表す客観的データ] ・市町教育委員会のうち、特別支援教育専任の指導主事を配置しているのは、17市町中、2市町（福井市・越前市） ・令和4年度の特別支援学級担任のうち約6割、通級指導担当者の約9割が特別支援教育経験年数5年以下。					
[事業目的] ○市町教育委員会を中心とした、地域における支援体制を強化する。 ○小・中・高等学校の教職員の特別支援教育に関する専門性を向上させ、発達障がい等の理解や移行支援の充実を図る。											
[事業内容] (1) 支援体制強化 ア 支援体制専門員の配置…会計年度任用職員として1名（R5）配置 イ 地域における支援体制強化（451千円） (2) 研修体制の充実 ア 通級指導に関する研修会および実践研究（87千円） イ 移行支援に関する研修会（14千円）											
[受益者] 小・中・高等学校に在籍する発達障がい等支援の必要な児童生徒						[想定される受益者数] 小・中・高で計画作成必要者数(特学含む)4,032人(H31.1文科省調査)					
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児移行支援充実事業 (実績) ○発達障害児移行支援充実事業 ・教育支援専門員による小・中学校訪問、保護者理解啓発リーフレット作成 ○通級指導担当者支援事業 ・研修会等の開催、通級指導における教材・教具集発行				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援教育専門性向上事業 (役割分担) 本事業は市町および小・中・高等学校における支援体制に特化した事業だが、指導・支援にあたっては地域のセンター的機能のある特別支援学校との関わりが必要であり、関連事業と連携強化を図る。			
市町との連携状況		・支援体制専門員が市町の特別支援教育担当者とともに学校訪問し、校内支援体制について指導・助言 ・特別支援教育担当者連絡協議会において、各地域における課題等について共通理解および協議 ・県主催研修会等への参加依頼 ・市町の要請に応じ、市町主催研修会等へ参加				他県の状況					

特別支援教育に関する支援体制充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,066				3,066							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,318	3,293	3,287	3,066	・リーフレットの電子データ配付に伴う印刷製本費削減 ・学校への支援・助言機能の市町教育委員会への段階的な移行に伴う消耗品費（発達検査用紙）の減額					
2月現計予算額の推移			3,318	3,293	3,287							
決算額の推移			3,058	3,003								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度：支援体制専門員の訪問先市町の変更に伴う旅費の減 令和4年度：研修会等の精選に伴う報償費や旅費の減											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別支援教育に関する指導・助言可能な市町教委担当者数（人） (目標) 実績		(2) 3	(2) 3	(3) 5	(5)		(17)	所管学校における特別支援教育に関する確認事項について理解し、支援体制について指導・助言できる市町教育委員会特別支援教育担当者数の累計			
活動指標	連絡協議会の開催数（回） (目標) 実績		(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3)		(3)	市町教育委員会指導主事が支援体制に関して協議、共通理解をする連絡協議会の年間開催数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標、成果指標ともに目標を達成した。				・リーフレットを広く活用するため、電子データ化 ・学校への支援・助言機能の市町教育委員会への段階的な移行に伴い、諸経費を見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	207	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョンにおける位置付け		分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ○経験年数が浅い教員や特別支援学校教諭免許状を保有していない教員が所属している。 ○新学習指導要領では、ICT機器を活用した指導力向上が求められている。 ○特別支援学校教員による専門性の高い指導・支援や、特別支援教育コーディネーターによる教育相談の質の向上が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ] ・小・中学校特別支援学級の教職員の状況 教員数461名のうち特別支援学校教諭免許状保有者254名							
[事業目的] 多様な障がいに対応するための専門的な知識の習得や、実践的な指導力の向上を目指した研修等とおして、特別支援学校等の教員の専門性を高める。													
[事業内容] ○特別支援学校教諭免許状保有率の向上 ア 免許法認定講習の実施（805千円） ○新学習指導要領に対応した授業改善およびICT機器を活用した指導力の向上 ア 授業改善研修およびICT活用推進会議の実施（273千円） ○多様な障がいに関する専門的知識および支援や相談スキル等の習得 ア 外部専門家研修の実施（644千円） イ 教育相談研修の実施（235千円）													
[受益者] 特別支援学校の幼児児童生徒、教員						[想定される受益者数] 約1,500名							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,957	214		繰入 507	1,236	国庫：教育支援体制整備事業費補助金 繰入：教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			2,193	2,056	2,070	1,957	検査の種類を変更したことによる減額					
2月現計予算額の推移			1,417	2,056	1,606							
決算額の推移			819	1,381								
前年度までの主な増減理由	令和3～4年度：障がいのある児童・生徒のための検査の種類を変更したことによる増減（3年間で異なる検査を1種類ずつ実施）											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別支援学級における特別支援学校教諭免許保有率（％）	(目標) 60	(60)	(65)	(65)	(65)	(70)	(85)	教育振興基本計画では、特別支援学校教諭免許状の保有率を向上させるため、認定講習を継続的に実施することをうたっている。特別支援学級においても85%（特別支援学校の全国平均）を最終目標とする。			
	実績	58.2	55.9	53.6	55.1							
活動指標	特別支援学校における外部専門家研修実施回数（回）	(目標)			(45)	(50)	(55)	(60)	教育振興基本計画では、特別支援学校において医療・福祉・ICT関連等の外部人材を活用して専門的な研修の充実をうたっている。			
	実績	48	55	38	56							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標を達成したが、成果指標については未達成となった。 (外的要因) 特別支援学級数が増えたため。 (事業による要因) 受講に複数年要するため成果がすぐに反映されにくい。しかし、令和3年度より保有率は向上している。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	113	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] ○農業分野の実習や雇用の受入先業が少なく、作業体験活動等を通して、サポーター企業等の開拓および活用をしていく必要あり ○校内の作業学習の内容は製造系が中心であるため、就職先の職種に合ったサービス系の学習を充実させていく必要あり						[問題・課題を表す客観的データ] 過去10年の特別支援学校卒業生(462名)の進路内訳において 農林漁業作業者：4名 専門的技術的職業従事者：13名 サービス職業従事者：49名						
[事業目的] ○農業体験など地域との連携・協働により、特別支援学校児童生徒の就労・学習意欲や職業スキルを向上させるなどキャリア発達を促進する。												
[事業内容] ○農業法人等による技術指導や校外での農業体験実習により、特別支援学校中・高等部生徒の就労意欲および職業スキルを向上(1,565千円) ○特別支援学校中・高等部における作業学習の見直し、喫茶業協同組合等の協力を得ながら喫茶サービス技能検定の導入を検討(631千円) ○特別支援学校小・中学部の児童生徒が、地域における社会体験活動など積極的な社会参加をすることにより、ライフキャリアの発達を促進(327千円)												
[受益者] 県立特別支援学校6校の知的障がいのある中・高等部生徒(うち農業班)						[想定される受益者数] 150名						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援学校就労応援事業 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,990			諸収入 569	9,421	雑入（保険料被保険者負担分）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			11,269	11,099	10,106	9,990	農業体験実習にかかる経費（消耗品費）について、実績を踏まえて減額					
2月現計予算額の推移			8,449	11,099	9,556							
決算額の推移			8,393	8,379								
前年度までの主な増減理由	令和3年度 地域社会交流体験の実施校数見直しに伴う減額（11校→6校） 令和4年度 会計年度任用職員の共済制度変更に伴う減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農業体験実習受入企業等数（社）		(6)	(6)	(9)	(9)	(9)	(12)	農業体験実習受入れや技術指導等の協力を得られた企業等数			
			7	7	6							
活動指標	農業体験活動参加生徒（人）		(100)	(100)	(120)	(120)	(120)	(150)	農業班で学習する生徒のうち、本事業で校外での農業体験活動に参加した生徒数（延べ）			
			79	79	107							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標、成果指標ともに目標未達成となった。 （外的要因）未達成の要因はコロナ禍で予定していた体験実習が一部中止になったことが挙げられるが、令和3年度より参加生徒数は増加した。				農業体験実習にかかる経費（消耗品費）について、実績を踏まえて減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	190	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

特別支援教育DX事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気療養児の学習機会や心理的安定の確保。 ・ 高校通級において、障がい特性により言葉やイラストによる指導だけでは定着が図れないケースが多く、授業改善が求められている。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気療養に係る福井東特別支援学校への転入出者 令和4年度：約20名 ・ 福井県内の高校通級実施状況 令和4年度：14校51名 					
[事業目的]											
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器を活用して学習環境を改善し、病気療養中の児童生徒の学習意欲の向上や心理的な安定を図る。 ・ 発達障がい等のある児童生徒のソーシャルスキルの向上を図る。 											
[事業内容]											
(1) 遠隔ロボットの継続的活用 ・ 病気療養中の児童成果とが遠隔ロボットを活用して前籍校の授業に参加し、前籍校との繋がりを保障することで心理的な安定を図る。											
(2) 発達障がい支援VR機器の活用 ・ 学習用VR機器を活用し、通級による指導を受ける高校生に対してソーシャルスキルトレーニングを実施する。 ・ VR機器の活用により、より現実に近いコミュニケーション場面を繰り返し体験することで学習効果の向上を図る。											
[受益者] 病気入院中の児童生徒、高校通級の対象生徒						[想定される受益者数] 90名 (R3病気療養児 39名、R4高校通級対象生徒 51名)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・ 必要に応じて市町の小中学校に遠隔ロボットを貸出					他県の状況					

特別支援教育DX事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	973				973							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					1,627	973	・機器整備完了に伴う備品購入費の削減 ・使用期間の精選に伴う使用料および賃借料の減額					
2月現計予算額の推移					1,627							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								・児童生徒の状況が大きく異なるため、定量的な成果の把握は困難である。 ・個々の実態に応じ、児童生徒の心理的安定や社会性の向上を目指す。			
活動指標	VR機器を活用したのべ授業時数(時数) 実績				(90) 62	(100)						・VR機器を活用し、障がい特性に応じた指導を個別に行う。
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標未達成となった。 (外的要因)VR機器や使用料の上昇があり、活用期間が短縮されたため、想定よりも授業時数が少なくなった。令和5年度については、効率的なスケジュールによる授業実施に努める。				・機器整備完了に伴う備品購入費の削減 ・使用期間の精選に伴う使用料および賃借料の減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	654	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

特別支援教育就学奨励費システム改修事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度	R5 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]					関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]			
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
国の制度改正を反映し、対象者・支給金額等の過誤や遅滞なく、特別支援教育 就学奨励費の支給事務を行う必要がある。						特別支援教育就学奨励費受給者 865人 (R4年度)					
[事業目的]											
・ 国の制度改正に応じた特別支援教育就学奨励費システムの改修											
[事業内容]											
・ 令和5年度の特別支援教育就学奨励費制度の一部改正により、それまで本奨励費の対象外であった高等学校在籍の障がいのある生徒についても一部支給対象 となった。 高等学校在籍生徒に円滑に奨励費を支給するため、各県立高校在籍生の情報入力が可能となるよう特別支援教育就学奨励費システムを改修する。											
[受益者] 特別支援教育就学奨励費受給者						[想定される受益者数] 約900人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援教育就学奨励費 (役割分担) 特別支援教育就学奨励費(扶助費)により特支校に通う生徒へ就学に必要な費用を支援。 本事業は特別支援教育就学奨励費を支給するために必要な情報登録・支給額算定等を行うシステムの改修を行う。				
市町との連携状況						他県の状況					

特別支援教育就学奨励費システム改修事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,850				3,850							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						3,850						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								システム改修に係る事業のため、指標の設定は困難			
活動指標	(目標) 実績								システム改修に係る事業のため、指標の設定は困難			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他				